

児童・高齢者分野における安心・安全WG

安心・安全な社会の実現に向けた情報通信技術の
あり方に関する調査研究会 第1回会合

平成18年2月8日
東京学芸大学 渡邊 正樹

子どもが関係した事件・事故および傷害等の実態

1. 日常生活における事故・傷害の状況

表1 不慮の事故の死因別，死亡数及び割合（2003年）

年齢	0歳児、	1～4歳児	5～9歳児
死因	死亡数(%)	死亡数(%)	死亡数(%)
総数	152人(100.0%)	230人(100.0%)	221人(100.0%)
交通事故	15(9.9)	89(38.7)	116(52.4)
転落・転倒	6(3.9)	21(9.1)	11(5.0)
火災など	4(2.6)	22(9.6)	17(7.7)
溺死	7(4.6)	38(16.5)	52(23.5)
不慮の窒息	110(72.4)	46(20.0)	16(7.2)
その他	10(6.6)	14(6.1)	9(4.1)

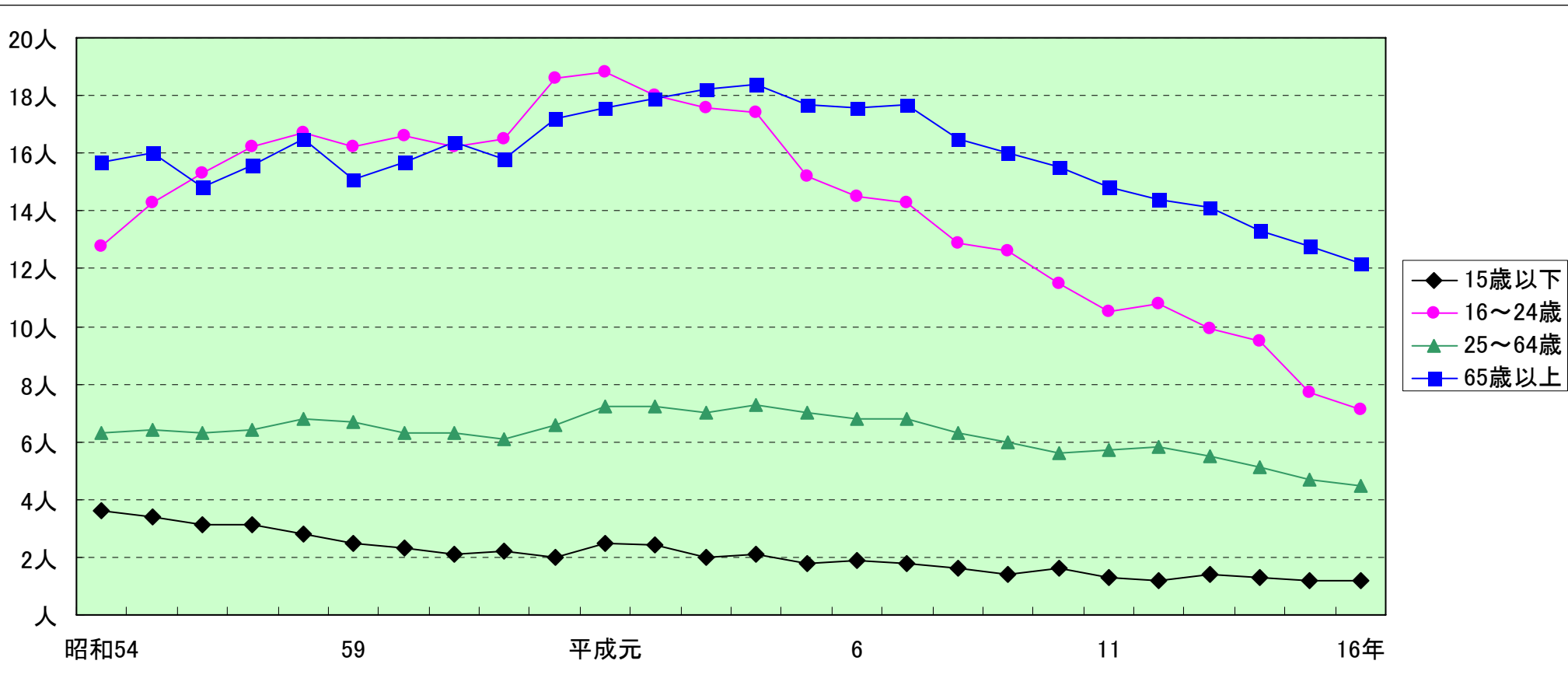
表2 学校管理下の災害発生状況(平成16年度)

種 別	負傷・疾病	障害	死亡	計	
	件数(件)	件数(件)	件数(件)	件数(件)	
小学校	730,140	95	13	730,248	
中学校	706,736	144	27	706,907	
高等学校	全日制	492,742	241	40	493,023
	定時制	3,894	6	3	3,903
	通信制	856	3	0	859
高等専門学校	4,983	6	4	4,993	
幼稚園	49,050	12	0	49,062	
保育所	63,605	21	5	63,631	
計	2,052,006	528	92	2,052,626	

独立行政法人日本スポーツ振興センター資料より

2. 交通事故の状況

図1 年齢層別人口10万人当たり交通事故死者数の推移



平成17年度交通安全白書より

3. 犯罪被害の状況（以下、警察庁データより）

図2 未成年者が被害者となった刑法犯罪件数の推移

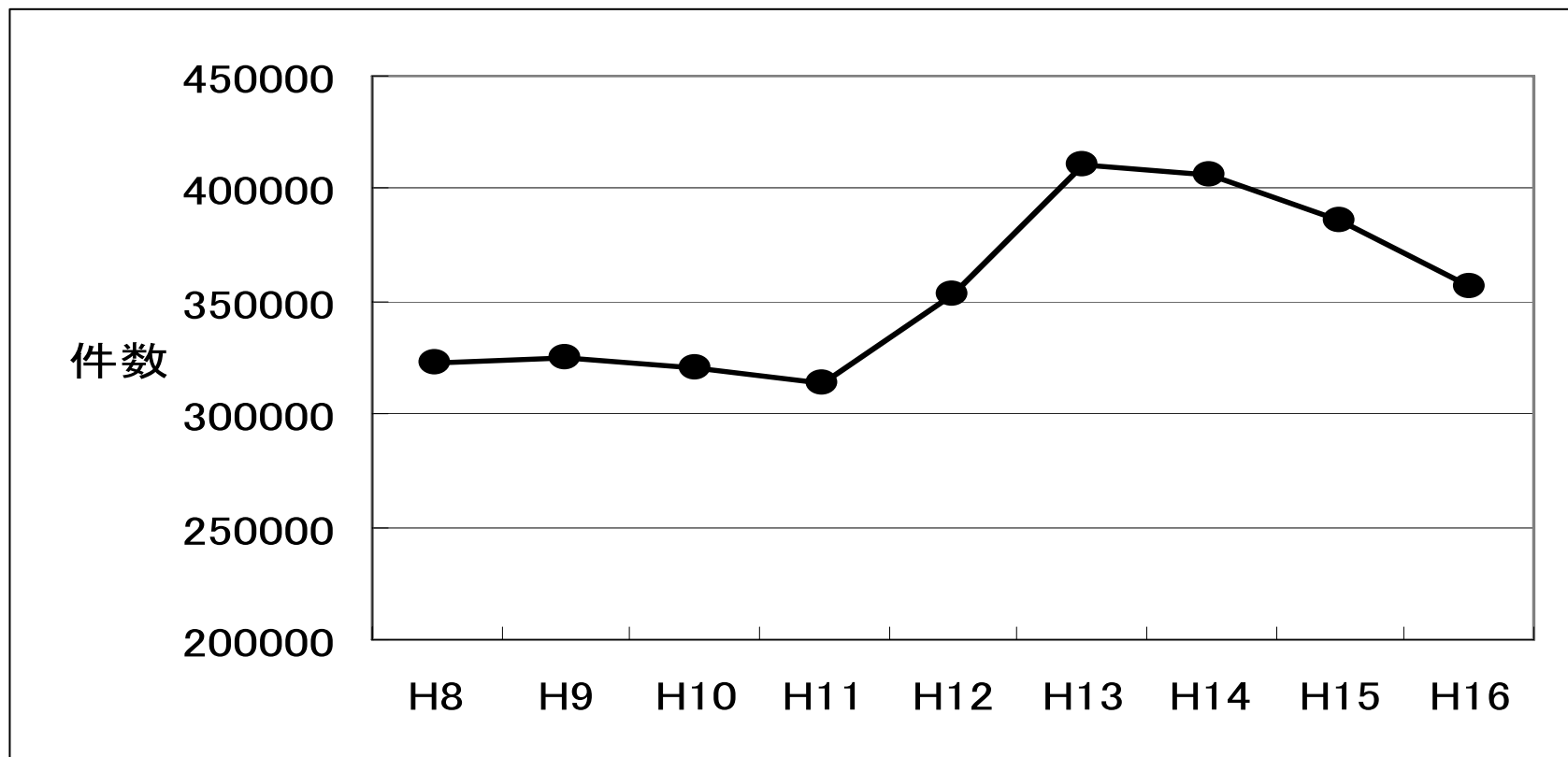


図3 校種別略取誘拐の推移

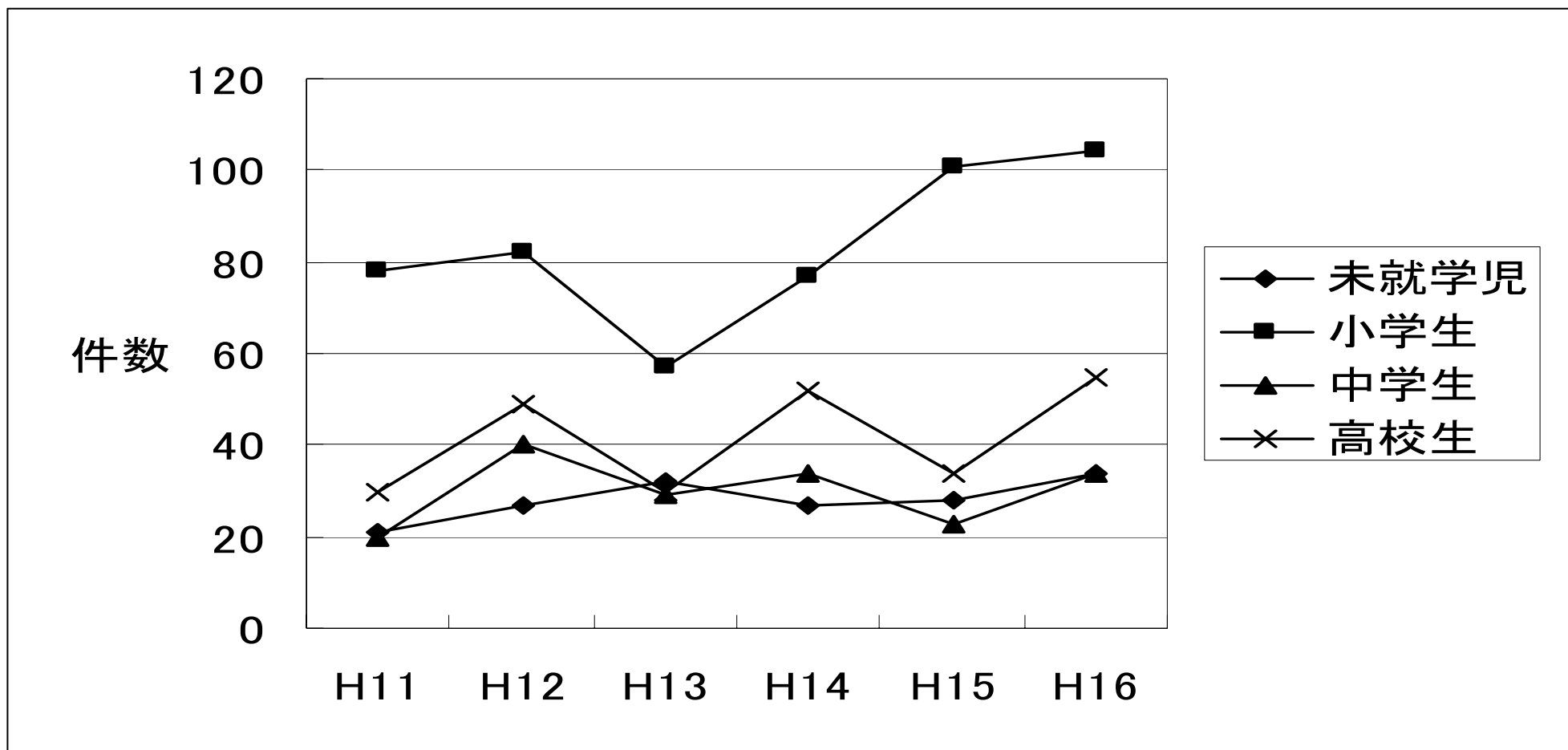


表3 出会い系サイトに関わる事件の被害者数(平成16年)

性別 \ 小中高別	小学生	中学生	高校生※	計
計	3	372	538	913
女性	3	371	532	906
男性	0	1	6	7

※「高校生」には、児童ではない者(18歳)を含む。

児童・高齢者の安心・安全WGにおける検討事項について

WGにおける検討事項(案)

- (1) 児童・高齢者の安心・安全に関するニーズを把握
関係者からの情報提供や現場等への訪問ヒアリングなどによる事例調査、課題その他のニーズを把握
- (2) 提供情報及びヒアリング結果の整理、ニーズの分析、関連技術の動向と将来展望
- (3) 分析されたニーズに基づき、情報通信分野としての必要性の高い研究開発課題を抽出
- (4) 研究開発課題の更なる明確化、実現方策等について検討

当面の検討スケジュール(案)

- 第1回WG ユーザニーズ把握のための事例発表(その1)と次回WGまでに行う調査対象、ヒアリング項目などについて検討
第2回WGまで 事務局等において対策現場への訪問ヒアリング等を実施、ヒアリング結果の整理
- 第2回WG 事例発表(その2)、ヒアリング結果の整理、ニーズの分析、関連技術の動向と将来展望について検討